

事務事業 No./名 称	■サービス部門 都整-12 道路維持補修事業										
主管課	道路整備課					関連課					
分野名	道路整備										
目標 (目標値)	道路の良好な維持・管理										
人口等の データ	データ区分	22年度	21年度	20年度	備 考						
	人 口	177,161人	176,669人	176,484人	・各年4月1日 (住民基本台帳)						
	世 帯 数	78,812世帯	78,131世帯	77,430世帯							
	事業の対象者数										
運営資源 状 況	決算値(千円)	114,566	100,927	182,526							
	(国・県)	12,180	12,650	1,000							
	(負担金等)										
	(一般財源)	102,386	88,277	181,526							
	人員配置数	2.4	1.3	2.1							
	人 件 費(千円)	20,854	11,976	19,693							
	協 働 の パートナー										
事務事業 運営経費	総事業費(千円)	135,420	112,903	20,219							
	市民1人当 りの経費(円)	764	639	1,146							
	対象者1人 当りの経費(円)										
ベンチマーク (県内外自治体 や民間団体と の比較値)	団体名										
指 標	評価	年度	21年度	22年度	23年度	24年度	最終年度(年度)				
		目標値									
◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退		実績値									

中事業に含まれる小事業の評価(⇒個別事業の概要は裏面)

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。				②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。			
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。				④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。			
小事業名	H22決算値	評価 適切=○、要改善=△(評価の視点を参照)				⇒ 方向性	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止			
道路維持補修事業	114,566千円	①効率性	○	②妥当性	○	③有効性	○	④公平性	○	⇒ □A ■B □C □D □E
	事業の概要	道路の維持補修を行い、安全で円滑な交通を確保し、交通事故防止に努めるとともに、スクールゾーンの安全対策を実施する。								
		①効率性		②妥当性		③有効性		④公平性		⇒ □A □B □C □D □E
	事業の概要									
		①効率性		②妥当性		③有効性		④公平性		⇒ □A □B □C □D □E
	事業の概要									
		①効率性		②妥当性		③有効性		④公平性		⇒ □A □B □C □D □E
	事業の概要									
		①効率性		②妥当性		③有効性		④公平性		⇒ □A □B □C □D □E
	事業の概要									

中事業の評価結果

事業診断(課長評価)						
H22年度の課題	市域全域の道路施設等は、整備後相当年数が経過しているため、市民からの補修要望は多く、その内容も多岐に渡るため、対応に苦慮している。					
課題解決のための取組	保守要望の内容及び状況に応じて作業センターと連携を図ったことにより、有効かつ効率的な対応が可能となった。					
未解決の課題	市民からの要望箇所や内容が多岐にわたることや抜本的な改修が必要な箇所が多くあるため、次年度以降の対応となるなど、累積されている要望に 対応できないものがある。					
今後の方針	平成23年度に市内の道路施設の劣化状況を調査する舗装状況調査を行い、維持補修について優先順位を定め、計画的な維持補修に努める。また、 作業センターとの連携をより一層強化し、市民要望の対応について有効かつ効率的な対応を図っていく。					
今後の方向性	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止	⇒	B	※□事業完了	課長名	道路整備課長 吉野正弘

